

チャレンジ支援委員会「発表応募支援セミナー」報告書 #8

チャレンジ支援委員：石澤，嶋津，三代

2019 年度 九州・沖縄支部活動

2019/07/20 沖縄科学技術大学院大学(OIST)

「発表応募支援セミナー & 個別相談会」 9:30-11:30

2019 年度の九州・沖縄支部活動は、「日本語教育における質的研究を問い直す」というテーマで、通常の支部活動とは異なり、2 日間にわたって行われました。1 日目から台風が心配されましたが、無事に担当のチャレンジ支援委員が集合しました。



定員 50 名という参加者の中から、「発表応募支援セミナー & 個別相談会」には、2 名の大学院生が参加してくれました。

前半の発表応募支援セミナーでは、学会発表を想定した具体的な質問をいただきました。今回初めて日本語教育学会に参加した大学院生の 1 人は「自分の研究がそもそも日本語教育学会で発表可能かどうか」を見極めるためにセミナーに参加したとおっしゃっていました。もう 1 人の方は

「自分の研究テーマがどの発表分野に該当するか」を知りたいとのことで、熱心に質問されていました。

後半の個別相談では、参加者の専門分野に関連した研究を行っているチャレンジ支援員が対応しました。個別相談は 30 分以上におよび、相談後の「発表応募します！」という参加者の宣言に、私たちチャレンジ支援委員も勇気づけられました。

また、セミナー終了後のアンケートにも、「マンツーマンでご丁寧にご指導いただき、新たな気づきを得ることができました」というご感想をいただきました。今後も、支部集会和連携し、対面でご相談に応じていきたいと思ひます。



ご参加いただきました方々、どうもありがとうございました。

(文責：嶋津)